



# お元気ですか

株式会社ダイニ商会 TEL 045-521-4786

## 2022年 事故報告

2022年もたくさんの事故が起きています。

これからも冬の寒さと師走の忙しさも相まって注意散漫になりがちなので、明るいお正月を迎えられるように、気を付けて過ごしましょう。



件数	発生月	年代	性別	種別	事故内容
1	1月	70代	女性	就業	積雪面にて滑って転倒。左手首骨折（ひび）。
2	1月	70代	女性	私用	自宅にて転倒。頭部打撲。
3	1月	60代	女性	私用	自転車走行中に衝突事故。鎖骨骨折。
4	2月	60代	女性	就業	猫除けに張っていたネットに躓き転倒。足首骨折。
5	3月	70代	女性	私用	自宅にてゴミ搬出中に転倒。足首剥離骨折。
6	3月	70代	男性	私用	工作物を作成中、サンダーで手首擦傷。
7	4月	70代	男性	就業	粗大ゴミを整頓中に荷崩れし、足の親指骨折。
8	4月	70代	男性	私用	自転車で走行中に体調を崩し、転倒。回復せず退職。
9	4月	60代	男性	就業	台車でゴミ搬出中、転倒。腰部打撲。回復せず退職。
10	4月	60代	女性	私用	自宅にて転倒。足首捻挫。
11	4月	60代	女性	就業	管理室にて着替え中に転倒。頭部裂傷。
12	5月	60代	女性	私用	自宅にて転倒。膝、顔面打撲。
13	5月	70代	女性	私用	自宅にて転倒。手首骨折。
14	6月	50代	男性	私用	自宅付近の階段にて転倒。足首捻挫。
15	7月	60代	女性	通勤	通勤利用駅の階段にて転倒。足首捻挫。
16	8月	60代	男性	私用	調理中に火傷。
17	8月	70代	女性	私用	自宅ベランダにて転倒。顔面打撲。
18	9月	70代	女性	私用	自転車に荷物を下げて走行し、転倒。手首骨折。退職。
19	9月	50代	女性	就業	用具を両手に持って階段で転倒。足指骨折。
20	9月	60代	男性	就業	建物外周のグレーチングに躓き転倒。腰部打撲。
21	10月	70代	女性	就業	来館業者の台車が背面より衝突。全身打撲。
22	10月	70代	女性	通勤	自転車に乗車時に転倒。頭部骨折。
23	10月	70代	男性	私用	自宅にてカッターナイフ使用中、手が滑り創傷。
24	11月	60代	女性	就業	階段上の灯具清掃中に転落。頭部裂傷。肋骨骨折。

## いよいよ師走

年の瀬が近づき、世間も忙しない雰囲気になってきました。

今冬は新型コロナウイルスの第8波と、インフルエンザの同時罹災が心配されます。うがい、手洗い、マスクの着用、そして手指のこまめな消毒など。感染予防の習慣を継続し、健康で楽しいお正月を迎えましょう。

### 師走の健康・4つのおすすめ

1. 外出時はマスクを着用し、なるべく人混みを避ける。そして、帰宅時には手指の消毒と、うがい、手洗いを忘れずに。
2. 早寝早起きを心掛け、暴飲暴食を慎み、規則正しい生活を。
3. 良質のたんぱく質やビタミンA・Cなどを積極的に摂取し、一日三食、バランスの良い食事を摂る。
4. 室内では加湿器などを利用して適切な湿度を保つこと。冬場においても、こまめな水分補給を忘れず、体内の水分濃度を保つこと。

先月下旬に「欽ちゃん」の愛称で親しまれている萩原欽一さんが、ラジオ番組出演中、体調不良で緊急搬送されました。その原因が脱水症状だったと回復した本人が報告しています。以前にも脱水症状で搬送されたことがあると言い、今回も立ち上がれなくなっていたと言っています。

高齢者は体質的に体内水分を保つことが難しくなります。頻尿になるからと水分補給を控えたり、何事かにも夢中になって水分補給を忘れていたりということが、ままあります。脱水症状は脳梗塞などの重篤な病気を引き起こす可能性もありますので、常日頃から意識して、冬場であってもこまめに水分補給を行いましょう。

### 師走の事故・3つの注意

1. 自転車による交通事故に注意。速度を控え、一時停止を忘れず、安全運転の意識を持つ。
2. 職場における凍結による転倒事故に注意。会社より凍結中が伝えられた際は、床面の水拭きは控え、水場での自分の足元にも注意しましょう。
3. 家庭内における事故に注意。自宅内での転倒事故だけでなく、入浴時のヒートショックなどにも注意が必要です。服を脱ぐ前に浴室の扉を開けておくなど、室温の調整を試みましょう。

### 師走の災難・2つの進言

1. 師走は振り込め詐欺が増加します。お金やキャッシュカードが絡む電話やハガキ、メールなどは、まず詐欺を疑いましょう。自分は絶対に騙されないという自負を持たず、周囲に意見を求めるなどしましょう。
2. 火災事故に注意しましょう。冬場は乾燥だけでなく、暖房器具などの使用も増えます。ストーブの上に洗濯物を干したり、寝たばこをしたりは、火災につながる可能性があります。

## 自分の年齢と体力を自覚しよう

皆さんは身体を使ったお仕事をしていますので、一般的な同年代の方よりお元気な方が多いかと思われます。しかし、バランス感覚や骨密度、体幹など、加齢と共に確実に少しずつ衰えています。自分が思っているほど、身体は反応してくれません。

自分の体力を過信せず、年齢を自覚して、安全第一で毎日をお過ごしください。

そして、いよいよクリスマス、大みそか、大掃除に正月準備の買い出しなど、心も体も忙しい年の瀬です。

「あわてず、急がず」を心で唱え、少しのんびりすることを意識して、年末の事故を防ぎましょう。

**今年一年ありがとうございました。 来年卯年、よろしくお願い致します。**

## 安全衛生委員会便り

11/9 (水) 14:30~15:35 5名参加 2課は11月12月繁忙期で欠席

・安パトで靴底チェックをしているが、問題が多い、会社の購入補助をもっと宣伝すべき

・ハイパーVを気に入って個人的に購入している人もいる

・10月中旬にマンション廊下にて、後ろから生協の配達台車にぶつけられた事故があった

台車の総重量は100kgとかなりの衝撃で打撲と裂傷をおった、どこのマンションでも起こりうる事故。各現場で周知をすること

・ビルメンテナンス協会の安全ビデオを視聴した

## 労災事故報告

階段からの転落			
11月下旬	60代	女性	1階から地下へ降りるL字階段
肋骨骨折	頭部裂傷	むち打ち	など
状況			
L字階段の三角形に段に乗り、壁面上部の灯具（地下のため、大型の照明）をフラワークリーンにて清掃していた。足元を見ずに階段下段の方向に足を踏み出したところ、まだあると思っていた床面がなかったため、踏み外して転落。約3段を転落し、廊下床面に身体を強く打ち付け、肋骨を骨折。その勢いで身体が弾み、反対方向の壁面に頭部をぶつけ、むち打ちと裂傷を負った。			
原因			
階段上段から下段に向かって清掃をしていた。手すりを掴んでいなかった。足元を見ずに、足を踏み出してしまった。		赤丸の部分に立ち、フラワークリーンにて、青丸の上部灯具の清掃を行っていた。	
対策			
階段清掃の際は、基本的には1段ずつ足を載せ、同じ段に足を揃えない。手すりを掴んで清掃を行う。灯具清掃の際は、下段から上段方向に向かって清掃をし、足元を確認してから移動する。			

## 鍵の事故について

鍵の事故が頻発しています。

- ✓ 家に現場の鍵を忘れて出勤してしまう。
- ✓ オートロックのゴミ集積場の中に鍵を置き忘れる。
- ✓ キーボックスに鍵を返さずに持ち帰ってしまう。

これらは紛失したわけではない、と思うかもしれませんが、すべて重大な事故に

つながる可能性があります。本当に鍵が家にあるとは限りません。ゴミ袋の中に

鍵が落ちて回収されてしまったかもしれません。持ち帰った先で紛失してしまうかもしれません。

鍵の扱いについて、もう一度確認をしておきましょう。



## 給与明細について

2023年1月度支給の給与明細より、いくつかの記載表記が変更になります。

### 勤務時間

1日の作業時間を表記 ⇒ 1ヶ月の総勤務時間数を表記

### 遅刻早退

実施した作業時間を別枠で表記 ⇒ 勤怠項目を作成  
遅刻早退の回数を表記

記載内容にご不明な点がございましたら、事務所までお問い合わせください。

## 年末年始の休業日について

事務所休業日 2023年1月1日（日）～2023年1月3日（火）

休業日は基本的には上記のとおりですが、物件単位で契約内容などにより、休業期間が異なります。それら物件にお勤めいただいている方には、担当職員より個別にご連絡をしていますが、不安や不明点などがありましたら、事務所までお問い合わせください。

## 年末最終日の確認事項

- ✓ 清掃用具や立て看板などの片付け忘れ
- ✓ 管理室や控室で使用している、電気ポットや扇風機などのコンセントプラグ
- ✓ 暖房機の電源
- ✓ 消灯の確認
- ✓ 窓の施錠
- ✓ 鍵の施錠と、鍵の返却
- ✓ 日報、注文伝票、出勤簿などの投函



忘れてないかな？ という不安を抱えながら新年を迎えないように、退勤前に再確認を行いましょう。

### 今月の安全標語 **もう一度 安全確認 心のチェック**

私たちの仕事である清掃作業は、同じ作業の繰り返しなので、つい油断の心が生じます。

事故の2文字を忘れ、安全確認を意識することなく作業を行っていませんか？

事故とは、起こしてからでは取り返しがつきません。

作業中の安全確認は、目と心で忘れることなく行ってください。あなた自身の為です。

**安全の基は心です マナーの基も心です 仕事の土台は無事故です**

良いお年を  
お迎え下さい